

会議開催結果

1	会議の名称	砥部町健康づくり計画及び食育推進計画策定委員会
2	開催日時	令和3年2月17日（水）午後1時～
3	開催場所	砥部町役場 議員協議会室
4	審議等事項	(1) 計画の進捗状況について (2) その他
5	出席者名	<p>【委員】 木谷伸治（町内医師会代表） 稲田雅仁（町内歯科医師会代表） 奥田美恵（愛媛県立医療技術大学看護学科講師） 松永公一（区長会代表） 的場善行（民生児童委員代表） 村上明子（NPO法人とべ子育て支援団体ぽっかぽか代表） 水口武史（砥部町ふれあい・いきいきサロン連絡協議会会長） 山田幸美（砥部町食生活改善推進協議会代表） 佐川啓人（松山南警察署） 水口 学（砥部消防署）</p> <p>【欠席者】 小泉光江（町内小児科医代表） 三木優子（愛媛県中予保健所長） 新名敏弘（砥部町PTA連絡協議会会長） 伊達泰明（砥部町立小中学校校長会代表） 向井千春（砥部町栄養教諭代表）</p> <p>【事務局】 保険健康課 池田晃一・篠原万喜枝・福見早苗・ 眞鍋ゆかり・光井雅美・宮田明菜・ 重松美由紀</p>
6	公開・非公開の別	公開
7	非公開の理由	—
8	傍聴人数	0人
9	所管課	砥部町保険健康課 電話 962-6888

砥部町健康づくり計画及び食育推進計画策定委員会会議録(概要)

発言者	発言内容
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p>
会長	<p>3 議事</p> <p>(1) 砥部町第2次健康づくり計画・食育推進計画の進捗状況について</p>
会長	<p>砥部町第2次健康づくり計画・食育推進計画の進捗状況について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>砥部町第2次健康づくり計画・食育推進計画の進捗報告について説明します。</p> <p>健康づくり計画の重点目標「こころの健康を守る」の基本目標「こころにゆとりをもつ」について、令和2年度は、幼児期からの性教育の講話をファミリーサポート会員に対して1回11人、NPO法人子育て支援団体ぽっかぽか（以下ぽっかぽか）に対して1回親子8組実施し、思春期教室は町内全小学校4校186人に実施しました。</p> <p>今後の事業計画は、コロナ禍ですが、中学校やPTA学校保健委員会に対しても方法を工夫し実施していきたいと考えております。</p> <p>基本目標「うつの人を放置しない」について令和2年度は、こころの健康講座を小学校2校で5年生123人対象に実施しました。こころの健康相談は、2か月ごと4人に実施し、メンタルヘルス研修は職員に対し実施しました。ゲートキーパー養成講座は、介護支援専門員を対象に1回19人に実施しました。</p> <p>今後の事業計画は、コロナ禍や著名人の自殺に影響を受け、全国的に自殺者が増加している現状があり、砥部町では</p>

働き盛りの世代への啓蒙普及も進めていきたいと考えております。商工観光課、社会教育課と連携し相談窓口の周知を実施していきます。

ゲートキーパー養成講座は、令和2年度の研修受講生を対象にスキルアップ研修を実施、また若年層対策として、学校関係者に対して研修を実施していく予定です。

ひきこもり相談窓口は、保健センターを窓口として設置しており、今後自殺対策強化月間等に合わせて、広報・ホームページにて周知していく予定です。

重点目標「子育てを楽しむ」の基本目標「ゆとりをもって育児する」について、令和2年度は子育て世代包括支援センターを開設しました。また、子育て支援センター『とべっこら』を開設し、延べ754人が利用しました。妊婦への保健指導を99人、栄養指導を49人、出産前後の電話連絡や訪問を40人に対し実施しました。妊婦対象に限定した教室ほっとママひろばは4回実施し、延べ21人が参加しました。

今年度はコロナ禍で、子どもを連れて出かけられる公的機関の活動が制限され、親子同士や専門職等との交流が図りにくく育児が孤立しやすい環境を強いられたため、今後は住民が相談しやすくなるよう子育て世代包括支援センター等、新しい体制の周知徹底を図ります。

基本目標「子育て支援の資源を活用する」については、コロナ禍の中、児童館やぽっかぽかが工夫を凝らしながら、様々な活動をされています。町の今後の計画は、子育てモバイルサービス事業による、子育て支援の情報提供や活用を考えています。

重点目標「交流・地域活動を推進する」の基本目標「子どもから高齢者まで、繋がりを広げる」の実施状況は、社会福祉協議会（以下社協）主催の地域福祉活動推進懇談会を各校区で2回、地域の集まりとして地区巡回健康教室、サロン、老人クラブの活動がありました。

今後の事業計画ですが、現在はコロナ禍で高齢者のサロン

等集まりの場への参加を自粛している地区が多くあります。今後はコロナ禍を考慮しながら、世代間交流できる地区が増えるよう介護福祉課・社協と連携し、集まりの場づくりを推進していきたいと考えております。

また、来年度は第2期地域福祉活動計画の策定年度にあたります。地域福祉活動推進懇談会を通じて住民の皆さんの声を反映していきたいと思っております。

基本目標「地域の次世代リーダーを育成する」について、令和2年度の実施状況は自主防災組織56組織の普及、食生活改善推進協議会115人、健康運動推進リーダー（元気でおり隊）36人の育成強化を図りました。

今後の事業計画は、健康運動推進リーダー（元気でおり隊）の活動が今年度終了するため、介護福祉課・社協と連携し、アクティブシニアボランティア養成講座を担い手研修の形として企画・参加勧奨して、集まりの場づくりを推進していきます。

重点目標「体力をつける」の基本目標「運動習慣をつける」について令和2年度の実施状況は、ノルディック・ウォーク普及事業を実施し11人が受講しました。

今後の事業計画は、今後もノルディックポールの貸し出しを継続、また、社協主催の地域福祉活動推進懇談会から始まったウォーキングサークルの活動を通して、運動習慣をつけるきっかけづくりをサポートしていきたいと思っております。

重点目標「生活習慣を改善する」についての基本目標「禁煙・分煙する」においては、令和2年度は幼児健診において乳幼児がいる家庭に対し、アンケートによる家庭内分煙の実態調査を行いました。その結果、家族の喫煙率は53.8%で、うち分煙しているのは91.4%でした。主な喫煙者は父で91.3%で、たばこの種類は紙タバコが50%、アイコス・電子タバコが50%でした。慢性閉塞性肺疾患に関する周知活動については、ポスター掲示や、パンフレットの配布等を行っており、今後引き続き普及啓発を行います。

基本目標「歯の健康を守る」については、乳幼児のむし歯対策として、アンケート調査やむし歯予防教室の実施、幼児

保護者のブラッシング技術習得率を調査予定でしたが、コロナ禍で全て中止となりました。今後は、コロナ禍で幼児健診と同時開催の歯科指導が困難になったため、対象を1歳6か月児健診終了後から3歳に変更し、むし歯になりやすい幼児に対象を絞って指導を行っていく予定です。

また、子育てモバイル事業による「教室予約機能」を活用し、コロナ禍に応じた教室の運営を行い、歯科対策を実施していく予定です。

重点目標「生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組む」の基本目標「自分の健康を守る（健診）」「がんを予防する」について報告します。

緊急事態宣言が出ていない時にナッジ理論を取り入れたハガキを特定健診未受診者に対して送付し受診勧奨を行い、電話勧奨も随時実施しました。ICTによる総合健診予約システムを2月上旬から新たに導入し、実施しております。

基本目標「動脈硬化を予防する」については、国民健康保険や後期高齢者保険加入者の重症化予防を行い、特に糖尿病の数値が高い方に対しては、かかりつけ医やかかりつけ歯科医との連携に役立つようにと、連携手帳ツールを配布し活用しました。

今年度、重点目標を実施しての現状と今後の事業計画ですが、安心して受診できるようコロナ対策を講じながら総合検診を実施しましたが、春の集団検診が中止になったことや住民さん自身の受診控えもあり、どの検診項目も受診者数が例年より減少しています。また、重症化予防対象者の状況ですが、数値が悪化している人も見受けられます。

今後は、ICT総合健診予約システムの周知や、重症化予防に関する医療との連携を引き続き強化していくことで、生活習慣病発症予防と重症化予防に取り組んでいきます。

事務局

食育推進計画について説明します。

重点的な取り組み「規則的な生活リズムをつくる」の事業計画の町主催イベントでの朝食の大切さの普及啓発について

は、ぽっかぽかまつりや秋の砥部焼まつりなど、予定していた町主催イベント自体が中止となったため実施できていません。その代わりに、今月来月と保育所や児童館でのお茶会の際に、4月から小学生となる子どもやその保護者に向けて、朝食の大切さのミニ講話を行います。

妊婦への栄養相談は、母子手帳交付時に49人に実施しています。若者・働き世代への食育教室は、町食生活改善推進協議会の実施事業ですが、事業自体が高齢世代への食育教室に変更となり、講話を1回実施しました。

子どもの食サポーター事業は、町食生活改善推進協議会の実施事業であり、例年町内幼稚園・認定こども園へ実施していたところを、今年度は麻生・宮内の2保育所へ各1回ずつ実施します。おしゃべり恐竜くらぶの親子のおやつづくり講習は、依頼がなく実施できませんでした。

病態栄養相談は12回、町ファミリーサポートセンター主催のレベルアップ講習会は、講話を1回実施しました。乳幼児健診の個別指導での保護者向け啓発は、281人に実施しました。

重点的な取り組み「規則的な生活リズムをつくる」での今後の事業計画は、引き続き事業を実施していきます。

重点的な取り組み「薄味を心がける」の実施状況については、だし・薄味推進運動を4か月児相談時に予定していましたが、4～8月は中止、10月から再開し2回実施しました。親子料理教室は中止となりました。

定期事業での薄味レシピの推進については、定期栄養改善事業は今年度中止したため、この場での実施はできていません。減塩レシピを地区巡回健康教室で配布しました。

重点的な取り組み「薄味を心がける」での今後の事業計画は、引き続き事業を実施していきます。

重点的な「野菜を食べる」の実施状況は、カット野菜、冷凍食品野菜などの活用例の紹介や時短野菜レシピを毎月4月から町広報紙に掲載しています。

食生活改善推進協議会の活動は再開し、調理は行わず伝達講習会 8 回、リーダー育成 3 回実施しています。

男性料理教室は、町食生活改善推進協議会主催で教室自体は中止しています。委託事業で、男性料理教室生を訪問して、野菜メニューが含まれる男性向けのレシピ本を配布・説明を実施しています。栄養学級は、中止しています。地区巡回健康教室は講話のみ 2 回実施しました。もりもりレシピ集の配布・活用では、広報誌で時短レシピの紹介とコラボして周知しています。食生活改善推進協議会事業である親子の食育教室は、子どもの食サポーター事業と合わせて実施しています。

重点的な「野菜を食べる」の今後の事業計画は、引き続き事業を実施していきます。

重点的な取り組み「口から食べる」について地区巡回健康教室での咀嚼力チェックを 1 回実施、噛め噛め運動の推進は、1 口目を 30 回噛むことを推進する運動で、乳幼児健診の個別栄養指導で保護者向けに啓発しています。

今年度、町内幼稚園、保育所、認定こども園、子育て支援課、保健センターが企画段階から連携して、噛む力を育てる教室を新しく実施しました。最初によく噛んで食べる効果について話し、噛む力チェックガムを使って、よく噛めているかをチェックし、あいうべ体操を行いました。噛んだガムは保護者向けのプリントに貼り付けて持ち帰ってもらいました。その結果は、日頃先生方が食べるのが遅い、活舌が悪いなど感じている子どもは、よく噛めていない傾向にありました。

今後の事業計画としては、噛む力を育てる教室を次年度も継続実施し、年度初めや年度途中、年度終わり等で評価判定を行う予定です。1 年を通して、よく噛んで食べる給食やおやつを提供、あいうべ体操などを計画的に取り入れ、また保護者と一緒に学べる機会として、実施していきたいと思えます。

重点的な取り組み「食マナーを育む」では、幼稚園、保育所、認定こども園で野菜の栽培、収穫体験、食マナー、礼儀教室、クッキング体験など各園ができる方法を考えて実施しています。幼稚園や小中学校でのお弁当の日の取り組みは、お弁当の日自体が少なく、お弁当の日の取り組みに限っての実施はできていません。

重点的な取り組み「食マナーを育む」の今後の事業計画は、引き続き事業を実施していきます。

食育においても、コロナの影響を大きく受けた一年となりましたが、その中でも栽培・収穫体験や講話等、できることを各関係団体が考え、対策を講じて普及啓発を行いました。

全体的な課題としては、住民さんとお会いできる機会や住民さんが集まる場が減り、会えなくなった人たちがいることにより、住民さんの食生活の変化や健康状態の把握が難しくなっていることです。また、学校給食では、配膳や時間の関係で、残食が増えています。

これらの課題を踏まえて、次年度は実態把握とその対策について、引き続きできるやり方を関係機関と連携し、考えて実施していきたいと思えます。

会長

事務局からの説明が終わりました。

ただいまの説明について、ご質問・ご意見などございましたらお願いします。

ご意見が出てこないようなので、先ほど事務局の説明の中に、「保育所等で噛む力を育てる教室」を新たに組み立てていると報告がありました。稲田先生、専門のお立場からご助言があればお願いいたします。

委員

習慣づけるためにも小さい頃からそのような取り組みをやってもらいたいと思います。

今回、コロナ禍の中集団で口を開けて歯みがきをすると唾液が飛び感染の恐れがあるといわれており、なかなか難しい

<p>会長</p>	<p>点もありますが、ソーシャルディスタンスを取ればできなくはないと思います。給食後の歯みがきをやっていない学校もあるということで、感染予防を考えながらやっていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。</p> <p>はい、ありがとうございます。貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>次に行かせていただきたいと思います。何かございませんでしょうか。</p>
<p>会員</p>	<p>子育て支援団体 ぽっかぽっか村上さん、先ほどの事務局の説明の中で、ぽっかぽかがコロナ禍でもできることを新たに見つけて、取り組んでいる報告がありました。村上さん、詳しくお話をお聞かせください。</p>
<p>会員</p>	<p>ぽっかぽかもコロナの影響で、親子の広場自体が、3月から5月の間、完全に閉所ということになっていました。そのため、なかなか親子が外に出る機会がなくなっており、こちらも会える機会がないので、その状況すら把握することも難しかったです。</p> <p>しかし、何かできないかと全国的な広場の情報を集めながらドライブスルーという方法を取りました。工作のキットを作り、おうち時間を親子で楽しく過ごしてもらえる工夫をして、時間をホームページでお知らせをして、その時間に車に乗ったままキットを取りに来てもらいました。</p> <p>お母さんたちが外に出てくる機会になり、コロナ禍でのおうちの状況をお話しできる機会にしたいと、約1ヵ月間毎週キットを替えながら、取り組みました。</p> <p>社協さんがボランティアを募ってマスクを作っており、作っても渡す方法がないとお聞きしたので、ボランティア活動の周知とマスクも手に入らない状況にあったので、工作キットと一緒にマスクを配布するといった社協とのコラボ企画</p>

	<p>にさせてもらいました。</p> <p>あと、食育のことですが、コロナで食べるということにかなり制限があります。現在も広場の方は開けていますが、お昼を持ってきてごはんを食べるということは、できていません。</p> <p>食事を一緒に食べることは、他の親子の状況を知るきっかけになり、「あっ、この月齢で、これくらいの物を食べているんだ」と学べるいい機会だったのです。今はランチデイなど食べることを中止しているため、お母さんたちが学ぶ機会がなくて、離乳食が進んでなかったり、幼児食のお母さんたちからの相談も増えているような気がします。</p> <p>きちんと椅子に座って食べるとか、他の子は出来ているのに、うちはできていないなどか、周りと比べて良い影響をもらうっていうことが、コロナ禍でできていないのが残念だと思っているところです。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。非常に努力されているのが、目に浮かびます。コロナ禍という初めて味わう時代、そんな中で新たなものを作り出していく試みは大切、すごいですね。感心させられます。</p> <p>他に何かないでしょうか。</p> <p>民生委員の的場さん、先ほど、事務局の説明にコロナ禍で、思うように事業ができないことなどの話がありましたが、民生委員として見守り訪問など工夫されていることがありましたら、ご紹介ください。</p>
委員	<p>砥部町民生児童委員協議会（以下砥部民協）は、現在 48 名ですが、ちょうど一年前に一斉改選がありました。そのため 48 名のうち 36 名、3 分の 2 にあたる方が新人です。それが活動を始めると同時にコロナ自粛ということです。月 1 回に役員会と定例会を開催していますが、今年はコロナ禍で 6 回しか開けていません。ですから、民協の本来の活動を皆さ</p>

んよくわからないまま、放置しているという状態です。そこで、いろいろアンテナを張って、問題があるなど思うところは、アンケートを作って地区の民生児童委員に配布し、考え方を説明して課題を突きつめていくという、そういう方式をとりながらやっています。

そしてもう一つ、健康づくりの中で「こころの健康を守る」の中でうつの人を放置しないという項目がありますが、私が民生委員を10年以上やる中で、一番気になるのがこのうつの人で、特に独居のうつの人が自殺する可能性があります。だから見守りって言っても、ずっと付いているわけにはいきません。私も苦い経験がありまして、その方とお話して、安定したと思っておうちに帰ったら2時間後に自殺されており、非常に嫌な経験でどうしようもない気持ちになったことがあります。事あるごとに、民生児童委員の方には「うつの方は特に気を付けて」と伝え、見守り体制というものを十分にやっておかないと、そういうことに繋がっていくからねと、皆さんに説明しながらやっているのが現状です。

この新人教育を早くやらないといけないのですが、一年間会議も半分しかやることができず、非常に困った状態ですが、新型コロナウイルスのワクチンの予防接種ができるというので、ぼつぼつ動けるかなという期待はしています。以上でございます。

委員長

ありがとうございます。非常に民生児童委員の思い、そして行動力が大切だと実感しました。感服しております。

他に何かございませんでしょうか。

ふれあい・いきいきサロン会長の水口さん、何かございませんでしょうか。

委員

ふれあい・いきいきサロンの連絡協議会の会長 水口でございます。ご他行にもれず今年はコロナということで、ほとんど全体的な活動はしておりませんが、個別や地区にあ

った活動はしていると聞いております。

ちなみに、私の上野団地は、サロンの会員だけで集まり行事をするのではなく、地域との連携を重視しようと、子どもさんとの付き合いといたしますか連携といたしますかやっております。年に1回もちつき大会、あるいはいちご狩り、そして、ラジオ体操は毎日やっています。子どももかなり集まりますが、しかし30年40年までは上野団地は小学校の子どもが60人いましたが、今小学校6名しかおりません。非常に子どもが減り、ちょっと活動が難しくなっています。その中で、少しでも交流ができたらいいなというようなことでやっています。

それが今の実情ですので、これからコロナが収束したら、もっと活動が増えてくると思いますが、今できることはそのぐらいのことです。町全体で、どの地区がどうやっているか、今情報はないのですが、ただ私ども上野団地の実情はそういうことです。以上でございます。

委員長

水口さんありがとうございました。コロナ禍ということで、活動を自粛せざるをえない現状でございますが、ちょっと気を新たにワクチンの接種が早ければいいなと思っております。

何か他にございませんでしょうか。木谷先生、何かございませんでしょうか。

委員

皆さんも言われている通り、昨年から今年にかけてコロナの影響で、ステイホームという状態が長く続いていますので、やはり健康面で見ても生活習慣病等にとっては非常にマイナスというか、悪い方向に影響が出ているのではないかと十分懸念されます。

一時期、外でのいろんな活動、ウォーキングとか含めてちょっと白い目で見える風潮があった時期もありますが、密を避けて屋外で活動するのは全く問題ないと言われていた

<p>委員長</p>	<p>で、皆さんの意識をしっかり持っていただいて、活動していただけるといいなと思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>(2) その他について</p>
<p>委員長</p>	<p>その他について、どなたかございませんでしょうか。</p> <p>私からですが、今外食がどんどん減っている中で、家庭の中でどんな料理を工夫されているのでしょうか。コロナ禍の中今までと違って、休みの日も外食せずに家庭で料理をする状況だと思いますが、栄養バランスを考えているのだらうと思います。どういったメニューが多いのか、参考程度に誰か言っていただければありがたいですね。</p>
<p>委員</p>	<p>家にいるようになって、昔習ったレシピがいっぱいありますが、味とか以前習ったものか、レシピの整理をしている時に出てきたものなどを作るようにしています。手の込んだことではなく、白菜や大根1つにしてもいつもと違う作り方があったら、それを参考に作るようにしています。</p> <p>朝は玉子を食べたら、昼はお魚、夜はお肉とか必ず主菜は毎日魚、お肉、豆腐をとるようにして、時間的にゆとりができお料理が少し丁寧にするようになりました。そしてご近所さんに配ったりして、喜ばれたり。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。そうですね、1つの食材でも味の変化や料理の仕方によって、いろんなバリエーションが増えてくるといったことですね。非常に参考になりました。</p>
<p>委員</p>	<p>私ごとなのですが、家内が去年脳梗塞で倒れまして、炊事・洗濯・掃除を全部自分がしないといけなくなりました。洗濯は乾燥機がついておりできますが、掃除は毎日する必要</p>

	<p>もないけど、食事は毎日です。弁当を取り出したのですが、半年取りもう飽きました。それで惣菜を購入して、ご飯は炊いて食べるようにしていますが、毎日毎日やらないといけません。女房が45年～50年の間、毎日食べさせていただいたのですが、本当にその苦労が身に染みております。</p> <p>料理教室は、1回行ってみたいなという気はしていましたが、まさかこの様なことになると思わなかったのです。今、非常に苦労していますが、何かいい知恵がありましたら教えていただけたらと思います。私ごとで申し訳ないのですが、どなたか教えていただけますか。</p>
委員	<p>近所に、食生活改善推進委員（以下食改）さんが、いませんか。</p>
委員	<p>食改さんは、おられます。差し入れを持ってきていただいたのですが、持ってきていただくとは何かお返しをと思い、もらった以上のものを持って行ったんです。それから、あとでしまったなと思ったのですが、もらったらすぐ持って行くものですから、とうとう持って来てくれなくなりました。</p>
委員	<p>そうですね、あまり…。</p>
委員	<p>食改さんは、お料理が上手でおいしいです。しかし、しまったなあ、まとめてお礼をすればよかったなあと思いました。そのような状態で、今は自分で料理をしています。簡単に行ける方法など、知恵があれば教えてほしいと思います。</p>
委員	<p>どんなことが困っていますか、また後で簡単にできるレシピをお教えします。</p> <p>男性料理教室が再開できれば、是非参加してもらって、その中の1つでも2つでも、覚えていただけたらと思います。</p>

委員	料理教室は、コロナ禍が落ち着いたらありますか。
委員	はい。今、休んでいます。コロナで密や食べるのがいかんと言うものですから。
委員	また教えてください。参加しますから。
委員	長く参加している人も多いので、手の込んだことや簡単なものもします。手の込んだことの中で、ほうれん草を湯がくなど1つでも覚えて帰ったら、花かつおとめんつゆでもかけて食べたらいいのです。 今は電子レンジでブロッコリーも簡単にゆがけた状態になりますので、時間のコツがわかったら簡単にできますので、マヨネーズやドレッシングをかけてつけて食べるとういんです。
委員	なんせ食に対する知識がないものですから。この間カレーを買ってきました。帰って見てみたらルーだけで中身が全然入っていませんでした。そして、たまねぎがどうか書いていますが、そんなことできません。ルーだけですから、妹にあげましたが、そんな状態です。
委員	私も夫に仕込もうと思いますが、わしの方が絶対先に死ぬからと言って、覚えようとしません。
委員	私は、実は男性料理教室に十数年通わせてもらいましたが、レシピをいっぱい持っています。いつでもお分けします。
委員	ちょっと初心者には難しいかもしれませんが。
委員	だけど、初め少しやればできると思います。単身赴任でも経験があればそう苦労することなくできると思います。

委員	僕らも単身赴任がありましたが、食事付きだったから経験がないのです。
委員	なるべく困っている人のお役にたてたらいいのですが、コロナ禍で料理教室は中止しているので、早く再開できることを願ひまして、またよろしくお願ひします。
委員長	<p>はい、どうもありがとうございます。</p> <p>ほのぼのとしたコミュニケーションがとれたのではないかと思います。</p> <p>他にないようでしたら、以上を持ちまして本日の会議を閉会したいと思います。委員の皆さま方には長時間に渡り、ご審議賜りありがとうございました。</p> <p>これで砥部町健康づくり計画及び食育推進計画策定委員会を閉会いたします。</p>